

3. 子どもたちにメッセージを届けるために

子どもたちへのメッセージ

- 自然体験を通じて豊かな感性を培い、いのちの尊さを感じとってほしい。
- 地域の自然を大切に思い、環境を保全し創造するために、自ら考え行動できる力（生きる力）を培ってほしい。

～ 自然と人間とのつながりを意識しよう ～

- ◆ 身近な自然の営みを知ろう。
- ◆ 自然の中で生きているものすべてが関わりあっていることを理解しよう。
- ◆ 人間も自然の一員であることを感じとろう。
- ◆ 自然物は有限であることを知ろう。
- ◆ 暮らしの中で、自然のバランスを損なわないための行動を考え、実行しよう。

効果的な方法

五感をつかって自然を感じる

「みる」、「きく」、「におう」、「ふれる」、「味わう」などの感覚をつかって、全身で自然の美しさ、不思議さ、厳しさなどを感じとる。

自然の中で楽しい体験をする

身近な地域の自然とふれあいの中で、驚き・発見・想像・達成感などを十分に得られるようにする。

→ p11「自然体験の『楽しさ』とは？」
参照

四季を通じて関心を持つ

一本の木や一定の場所について継続して関心を持ち、四季を通じた移り変わりや自然の営みを理解する。

さまざまな人がかかわる

親や地域のさまざまな人たちと関わりあいを持ちながら、自然とともに生きる智慧や工夫を学ぶ。